

ゲイター

**BURT
REYNOLDS**
IS
"GATOR"

バート・レイノルズ

ローレン・ハットン ■ ジャック・ウエストン
ジェリー・リード ■ アリス・ゴーストリー

製作 ジュールス・V・レビー ■ アーサー・ガードナー

監督 バート・レイノルズ

音楽 チャールズ・バーンスタイン (サントラ盤 ユナイテッド・レコード)

主題歌 「ゲイター」...ジェリー・リード

挿入歌 「つかの間の恋」...ボビー・ゴールズボロー

TODD-AO35 <カラー作品>

◆時速180^{K/h}・エンジンにはアルファ・ロメオ
モーターボートの空中大回転!

ヘリコプターの超低空追撃!
爆走トラックの大激突!
陸・海・空に展開する
一匹狼の爽快大アクション!

ゲイター

**BURT
REYNOLDS
IS
"GATOR"**

ゲイター

TODD-AO35

■カラー作品



ヘスタッフ

製作.....ジュール・ス・レビー
監督.....アーサー・ガードナー
撮影.....ウイリアム・フレノルズ
音楽.....チャールズ・バーンスタイン
主題歌「ゲイター」.....ジェリー・リード
挿入歌「つかの間の恋」.....ボビー・ゴールズボロ
ヘキャスト
ゲイター・マクラスキー.....バート・レイノルズ
グリーンフィールド.....ジャック・ウェストン
アギー.....ローレン・ハットン
バマ・マッコール.....ジェリー・リード
エメリン.....アリス・ゴーストリー
市長カフリー.....タブ・テイラー
知事.....マイク・ダグラス

United Artists
ユナイテッド映画

◆全米が湧いたクリーン・アクションの快作！

アクション映画のしにせ「007」がしばしシリーズを中断している間に、遂に出たという感じである。それにとって代わるものが――。

前作「白熱」で、現代アメリカ南部の悪を完膚なきまでに叩きのめした一匹狼の密造酒屋ゲイター・マクラスキーが、再び悪の巨魁に挑戦するため、古巣に舞い戻り、破天荒なアクションを展開する壮快な一編。

南部の一都市ダンストン郡は、完全にバマ・マッコールという悪の実力者に牛耳られていた。強迫・わいろ・詐欺・賭博・麻薬・売春・殺人と、ありとあらゆる悪業を重ねてきたマッコールは、その手口の悪さにおいて政府高官もまっ青というところ。しかも、市長と警察権力を完全に掌握しているため、なかなかしっぽをつかませない。遂に連邦政府は、この南部のガンを撲滅するため、一大作戦を開始することになった。が、この作戦にはどうしても一人の男の力を必要とした。マッコールの幼友達であり、南部をスミからスミまで知り尽くしているタフな風来坊ゲイター・マクラスキーだ。

◆バート・レイノルズは70年代のスーパーマンか！

主人公ゲイターを「白熱」に続いて気持よさそうに演じているのが、現代ハリウッド最高の売れっ子バート・レイノルズ。それもそのはず、今回はレイノルズ自らがメガホンを取り、監督業に乗り出した記念すべき第一作なのだ。人間、好調な時は怖いもの知らずというが、彼も何と演出にまで手をのびた。ところが結果はクリント・イーストウッドとは対照的なケレン味のないタッチで吉と出たようだ。

それにしても、70年代後半に入ってからバート・レイノルズの売れっ子ぶりは凄い。「ロンゲスト・ヤード」「ラッキー・レディ」「ハッスル」と軒並み話題作に主演し、さらにこの後、78年頃まで10本以上の過密スケジュールの状態にあるという。デビュー当時の臭みが抜けて、洗練された好漢に生まれ変わったといわれる彼「ゲイター」はそんな彼の最近の魅力が存分に味わえる作品でもある。

◆モーターボート＝ヘリ＝爆走トラックetc...
トリック・吹き替え一切無しの大アクション！

この作品の最大の見せ場は、開巻20分ボリュームたっぷりに展開するモーターボートとヘリコプターによる追跡アクションだ。沼沢地の奥でこっそり密造酒を作り続けていたゲイターを、ダンストン郡腐敗一掃作戦に組み入れるため、連邦政府の役人・州警察ら総勢200人の武装隊が沼に押しかける件り。逃げるゲイターのボートを、州警察のヘリとボートが全速力で追いかける猛烈なシーン。これをモーターボートのA級ライセンスを持つレイノルズが吹き代えなしでズバリ演じているのが小気味よい。おかげで、ハル・ニューダムに率いられたハリウッドのベテラン・スタントマンたちは出番が少いとボヤクことしきり。さらにラストの爆走トラック横転大炎上シーンのバートの決死的肉弾演技も見逃せない。撮影はカー・アクションの傑作「ブリット」の名手ウィリアム・フレカー。その駆使するトッドAO35のパナビジョン・カメラが特にアクション場面において素晴らしい効果をあげている。

◆世紀の美女とタフガイ――恋に落ちた二人

アクションもいいが、ロマンチック・シーンも捨てがたいというのがこの作品。「ハッスル」のカトリーヌ・ドヌーブの後を受けて、今回レイノルズの相手を演じるのが、美人TVリポーターに扮するローレン・ハットン（熱い賭け）。ニューヨークのトップ・モデルとして年収20万ドルは軽いという彼女。凹むべきところは凹み、凸むべきところは凸ったスレンダーな肢体は、同じモデル出身でもマーゴ某というきつ怪な巨女（？）とは大違い。波静かな夜の浜辺で、我らがゲイターと愛を語らうシーンが実にいいムードなのだ。

また、タイトル・バックのソウル・カントリー調の主題歌を、ドスの利いたノドで聞かせるのが、悪党マッコールを演じているジェリー・リード。そしてボビー・ゴールズボロの唄う主題曲「つかの間の恋」も聞かれるなど、ハリウッド製ならではのサービス精神横溢の娯楽作品である。

次回ロードショー

東
銀
座

松竹セントラル

(541)
2714